

事務連絡
平成22年9月24日

各 位

和歌山県福祉保健部
長寿社会課

トコジラミ（南京虫）についての情報提供

標記について、県内の施設において、トコジラミ（南京虫）が発生しているという情報提供がありました。

については、トコジラミ（南京虫）の形態・生態、発生した場合の対応及び駆除の方法について、東京都豊島区池袋保健所が発行しているパンフレット「トコジラミに注意」を別添により配付しますので、参考に願います。

なお、このパンフレットの使用については、豊島区池袋保健所の了承を得ていますので、申し添えます。

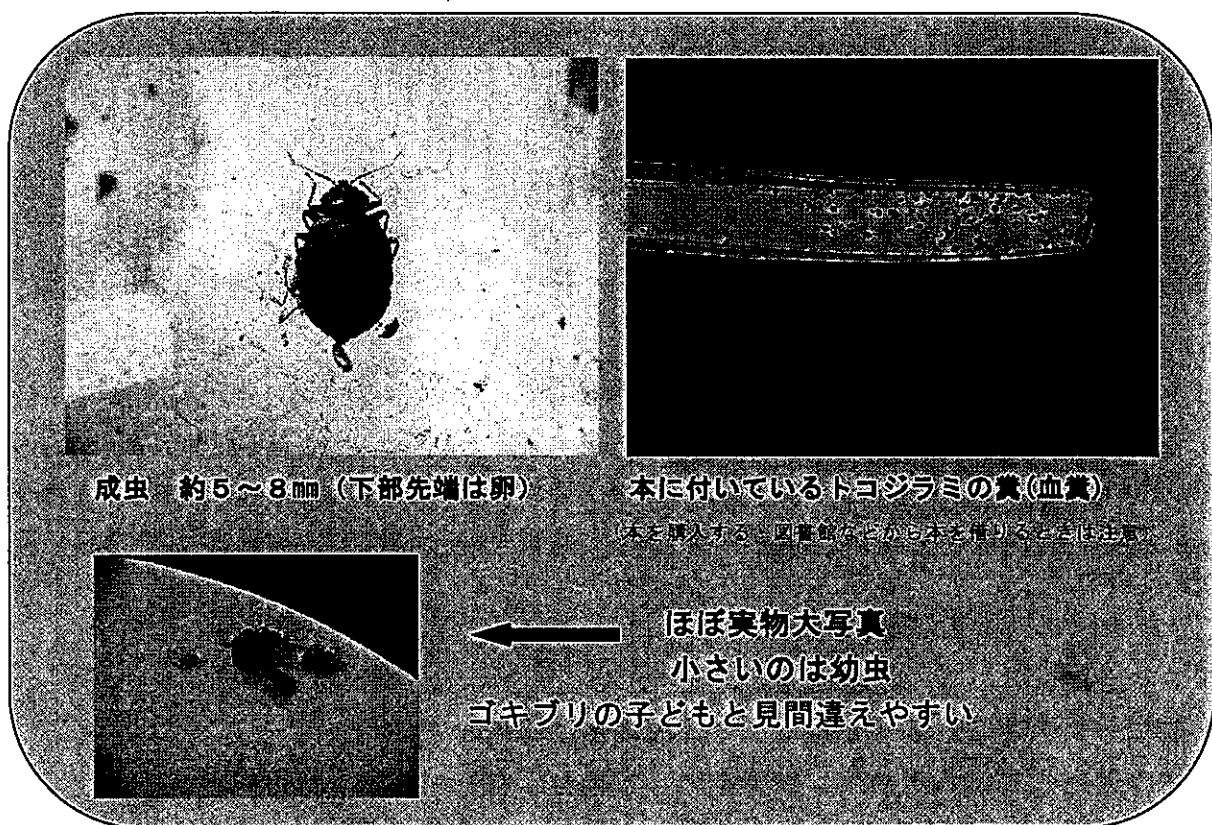
記

- トコジラミ（南京虫）東京都豊島区ホームページ（東京都豊島区池袋保健所 生活衛生課）
<http://www.city.toshima.lg.jp/kurashi/gaichu/011678.html>

トコジラミに注意

寝ているひとを吸血する！

トコジラミはシラミの仲間ではありません。別名、ナンキンムシとも言われています。主に夜間に活動して、寝ている人を刺して吸血します。刺傷部位は手足・首などの露出部が多く、くりかえし吸血されることにより痒みが出てきます。あまりの痒さで熟睡することができず精神的にダメージを受ける人がいます。(個人差があります)。



※本文の無断改変使用を禁じます。

※全文のコピー使用自由です。

※引用する場合はクレジット等を付けてください。

※当パンフレットは営業・販売目的での使用を禁じます。

※当パンフレットを多数印刷して配布する場合はご一報ください。目的により右記のスペースが利用できます。

豊島区池袋保健所 生活衛生課
としま

宿泊施設等からの相談が増加しています

近年、当保健所への相談件数が増加しています。海外では発生の多い地域もあり、ホテルや寝台車などの発生例では休業するなどの深刻な事態が見られます。宿泊者などの荷物などから持ち込まれてしまうことがありますので、宿泊施設の方は日頃の危機管理のひとつとして、発生時の対応を知っておいてください。特に最初の発生時の対応を間違うと、被害が拡大するばかりか、施設運営にも大きな影響がでますのでご注意下さい。我が国でも大手ホテルで、駆除がうまくできずに数ヶ月間空き部屋にしていたことがあります。被害が他室に広がった場合は大きな損失です。万一、施設に発生した場合は、管理者だけでなく従業員も含めた施設の対応が必要です。日頃からトコジラミのことを知っておきましょう。

なお、宿泊施設や寮のほか、人が集まる・利用する施設、たとえばサウナなども注意が必要です。



●足の刺傷被害



●カバンのベルトの折り目潜んでる
トコジラミ

トコジラミの形態と生態

トコジラミはかなり扁平です。その特徴をいかして狭いすき間に潜むことが可能です。潜み場所の条件がよければ、無吸血でも半年以上も生きることができます。じっと隠れて吸血相手を待っていることができるわけです。この性質を知らないと被害を拡大させたり、被害を防止できることがあります。

下記はトコジラミの形態と生態です。

成虫の大きさは約 5 ~ 8 mm

成虫の色は褐色

主に露出している足や手、首等を刺して吸血する。 雄、雌とも吸血する

主に夜間(寝ているとき)に活動・吸血する。 成虫、幼虫とも吸血する。

成虫は約 1 年生きる。 吸血しなくても条件により 6 ヶ月以上生きることがある。

成虫は一生の間に約 200 個の卵を産む

トコジラミは狭い隙間に潜るのが大好き

トコジラミは強い光を嫌う

潜み場所には糞(血糞)が見られる。 糞が多い所には卵・幼虫・成虫も見られる。

幼虫の形態は、成虫と殆ど同じで小さいだけ

孵化幼虫は約 1 ~ 2 mm

幼虫は約 1 ~ 3 ヶ月で成虫になる(5 回脱皮)。

卵は約 1 週間で孵化する。

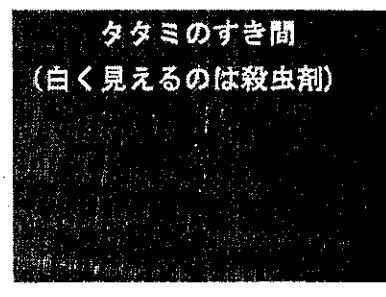
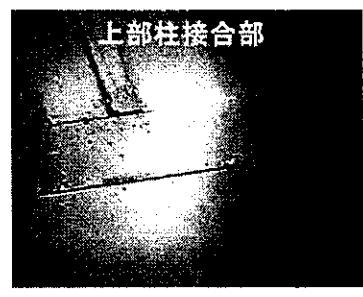
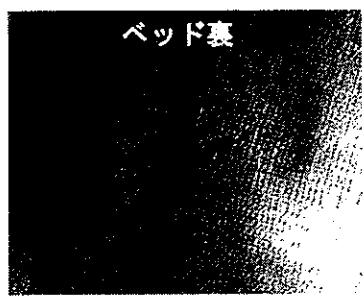
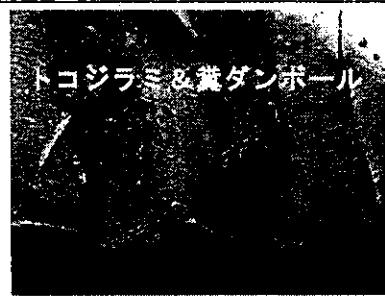
トコジラミの侵入・好きな潜み場所

トコジラミは旅行者のカバンや荷物に潜んで持ち込まれたり、家具(特に中古)・本などに潜んで持ち込まれたりします。持ち込まれてしまった場合は、施設の構造や家具類などのほか、人の生活様式などにあわせて、トコジラミの潜み場所が多様化します。

トコジラミは「暗い・温かい・狭いすき間」が大好きです(ゴキブリの習性と似ています)。潜み場所を見つける方法は、トコジラミが好きな場所を中心に濃褐色の糞(血糞)を目安にさがします(写真参照)。ただし、被害のあった室内・家具類等のすき間は、徹底的に目張りや殺虫剤処理・熱処理・清掃などを行います。

具体的な潜み場所例

- ベッド周り(ベッド下・つなぎ目の隙間・ベッド裏ホチキス打ち部・布団など寝具類)
- 床、壁、柱、床板のすき間・壁と床板の接合部・柱の接合部すき間・壁紙のはがれすき間
- じゅうたん、カーペット端下　　●畳と畠の間　　●家具類のすき間(テーブル・椅子など)
- 電気製品の下(特に発熱する物)・取り付け部・コード引き込み部(スタンド・テレビなど)
- すき間以外では室温が高い上部(壁と天井のコーナー、隅近)・薄暗いところ
- カーテン(折り目・縫い目付近・特に上部)　　●ダンボール(ダンボール構造部の中)
- 絵画等の額縁裏、すき間　　●本自体、本と本の間・書籍棚のすき間
- その他、寝室付近の手荷物カバンなどに潜むことがある。カバンなどでは、折り目の間や肩掛けベルトのすき間などに潜むことがある。
- 壁の上部や、薄暗い所にいることがある。殺虫剤処理されていない場所、たとえば寝具類(毛布・布団・衣類)・壁などにいる例がある。万年布団や積み重ねた毛布などは潜み場所として要注意。



黒いゴマのようなものがトコジラミの糞(血糞)

当パンフレットは一般の住宅などで発生した場合も参考にできます。

当パンフレットは下記ホームページで全文を見ることができます(PDF)。

豊島区公式ホームページ>生活ガイド>くらしの衛生>くらしの中のねずみと虫>トコジラミ

発生したら

日常業務の中での観察や対応が大切

各種施設の構造や状況が異なりますので、管理者や従業員の細かな対応がないと、たとえ専門業者に依頼しても駆除はスムーズに進みません。

また、被害が他室に広がらないよう早急の対応が必要です。被害が発生したら「駆除の基本」や次のことを参考にして日常業務の中で観察や処置を行い、被害者に対しては、敏速に対処・対応ができるよう日頃から従業員の方と共に対策を整えておきましょう。

施設での注意・観察

- 「潜み場所例」等を参考に従業員等による調査・観察を行う。日常業務の中で潜み場所を探す。
- 他室への被害拡大防止として、被害室内からの家具類などの移動に注意する。
ベッド等の寝具類・スタンド等の電気製品・カーテン等の調度品や荷物など。倉庫などに保管する場合でもトコジラミは無吸血で6ヶ月以上生きることがあるので注意する。また、被害のない室内用の調度品といっしょに保管しない。毛布類などの寝具類の交換や移動先・置き場所にも注意する。各室内に配置の本などにも注意する。
- 被害室内のダンボール類はトコジラミの巣になるので廃棄する。
- 掃除機で吸い取った後の掃除機の置き場所に注意する(吸い取ったゴミはそのままにしない。移動先の掃除機から他室に広がった事例がある)。

駆除の基本

①②③④⑥⑦は併せて行う

①きめ細かな清掃(掃除機を主力)を行う。特に隅やすき間はコーナー用の吸い取り口を使って吸い取る。掃除機で吸い取ったゴミはそのままにしないで処分する。

②殺虫剤をトコジラミの潜み場所等に撒布する。特にすき間への注入を主力として行う。

専門家に駆除を依頼しても、日常から従業員などが、トコジラミの潜み場所やすき間を探すこと必要である。併せてすき間や潜み場所などに殺虫剤の注入や撒布作業を行う。

※殺虫剤に強いトコジラミが見られるので殺虫剤撒布後の効果を観察する(薬剤選定に役立てる)。

③くん煙剤、またはミスト処理等で室内等の殺虫処理を行う。

くん煙剤のみによる処置ではトコジラミの駆除は困難であるが、近年の生活様式や構造等の多様化により、すき間以外でも潜んでいるので、くん煙剤やミスト処理等を併せた処置は必要である。

なお、すき間が多い室内などでは、くん煙剤のみによる処置でトコジラミが他室に広がることがあるので注意する。また、くん煙剤のみの処置では駆除はできない。

④すき間を目張りする(目張りの切れ目に注意)。わずかなすき間も見逃さないようにする。

⑤1週間後以降に再度殺虫処理を行うほか、効果調査・処置及び処置の見直し・経過観察を行う。

トコジラミの状況により再々処理を行う。従業員等も参加して効果調査や処置・経過観察を行う。

⑥その他の駆除方法は、ゴキブリの駆除方法に準ずる。

ただし、ゴキブリ駆除で行われる食毒剤による方法は全く効果がない。

⑦カーテン・寝具類・衣類などにいるトコジラミの駆除として熱処理がある。

※状態や状況に合わせた細かな処置や方法が必要である。化学物質過敏症の方への配慮も怠らずに。